

平成18年度 医療安全に関するコスト調査について（案）

1. 調査の目的

- 厚生労働省に設置されている医療安全対策検討会議が取りまとめた「今後の医療安全対策について」（平成17年6月）においても、以下のような点が重視されている。
 - 医療の質と安全に関する組織体制の充実、人材の資質向上
 - 医薬品、医療機器などの安全確保、情報技術の活用
 - 事故事例等の原因究明、対策の徹底
 - 患者、国民による主体的参加と情報共有の促進
- 本調査は、政策上も重視されているところに沿って、医療安全に関するコストの実態を把握し、診療報酬体系における評価の在り方について検討するための資料を作成することを目的とする。
- 平成17年度における調査では、医療安全に関して先進的な取り組みを行っている医療機関等を対象に、医療安全を保証・改善させるための取り組み状況等を把握し、取り組みに係るコストを分析すると共に、医療安全に関するコストの調査手法について検討した。
- 平成17年度の調査成果を踏まえて、平成18年度の調査では、調査の焦点となるべき重要な項目を定め、より幅広い医療機関等を対象として、医療安全に係る取り組みの程度を把握し、それらを満たすために必要なコストを分析する。

2. 調査対象及び方法

- 病院（300床未満を中心とする）、一般診療所（有床、無床）、歯科診療所及び保険薬局を調査対象とする。
 - ※ 上記と連携のもとに厚生労働科学研究費補助金（政策科学推進研究事業 H16-政策-014、主任研究者 今中雄一・京都大学教授）において300床以上の病院を中心に調査研究を行う。当該調査結果について提供を受ける予定。
- 医療安全に係る取り組みとその効果については、国内外の調査研究成果、文献をレビューして整理する。
- 一部の協力施設に対して、アンケート調査とは別の角度から安全確保の取り組みを把握するために、ヒアリング調査を実施する。
- 調査結果に関する公表は匿名性が保証される形でのみ行う。

3. 調査内容

- 重点を置く調査項目については、政策上の方向性を踏まえつつ、昨年度の調査結果を基に、医療安全に係る取り組みとして当該施設区分において実践が期待できるものを選択して設定する。
- 病院では、以下の項目を予定している。
 - 1) 医療安全の確保のための内部レビュー（医薬品、医療機器含む）
 - 2) インシデント・アクシデントの報告と改善のシステム
 - 3) 感染サーベイランス
 - 4) 事故・感染およびその防止への対応
 - 5) 医療安全に関する情報提供 等
- 病院以外の施設区分での重点項目は、病院との項目の共通性に配慮しながら、昨年度の調査実績や施設の規模・役割を踏まえた項目とする。
- それぞれの重点項目に対して、人件費や物件費のコストを把握する。
- 項目ごとに取り組みの程度の分布や普及の度合い（何割の施設が取り組んでいるか等）を把握する。

4. 調査実施体制

本調査は、シンクタンクへの委託調査とし、当該シンクタンク内に今中雄一・京都大学教授を主任研究者とする検討委員会を設けて調査を行うこととする。

5. スケジュール

平成18年	9月	調査票の設計、調査対象施設の選定
	10月～	アンケート調査の実施
	11月～	アンケート結果の集計・分析
	12月～	ヒアリング調査の実施
平成19年	3月	調査結果の報告

1. 医療安全に係る基本的な情報（案）

【問1】医療安全管理室、感染対策室の各部門やそれらに相当する部署の設置状況について、(1)「1週当たり平均(2005年度)」職種別総時間(人・時間)、人数、および、(2)メンバーが受けた医療安全・感染対策などの専門的な研修の提供者・プログラムの名称を記入して下さい。また、各部門が設置された(3)設置年度を記入して下さい。

	(1)「1週当たり平均(2005年度)」職種別総時間・人数												(2)メンバーが受けた専門的な研修の提供者・プログラム名称	(3)設置年度	
	1. 医師		2. 看護師		3. 薬剤師		4. 医療技術員		5. 事務系		6. その他				
	A.総時間	B.人数	A.総時間	B.人数	A.総時間	B.人数	A.総時間	B.人数	A.総時間	B.人数	A.総時間	B.人数			
①医療安全管理室 または、相当部署															
①感染対策室 または、相当部署															

【問2】インシデント・アクシデントの報告の状況について、該当するものに○を記入して下さい。なお、程度を問う質問は、回答者の認識の範囲内で回答して下さい。

(1)免責性に関する文書化の有無	1. 無 ・ 2. 有 (記載場所:)
(2)レポートの様式①	1. チェック式 ・ 2. 記述式 ・ 3. 併用式 ・ 4. その他 ()
(3)レポートの様式②	1. 概要のみ記入 ・ 2. 分析も併せて記入 (その内容:)
(4)フィードバックの有無	1. 無 ・ 2. 有 (その方法:)
(5)報告システムの経過年数	開始年度:)
(6)事故報告基準の設定の有無	1. 無 ・ 2. 有 (記載場所:)
(7)事故報告基準からの逸脱の程度	1. ほとんど逸脱していない ・ 2. まれに逸脱する ・ 3. ときどき逸脱する ・ 4. 頻繁に逸脱する

【問3】インシデント・アクシデントレポートそれぞれについて、職種別報告件数の推移を記入して下さい。職種別件数が明らかでない場合は、合計欄に記入して下さい。

	①2001年度		②2002年度		③2003年度		④2004年度		⑤2005年度	
	インシデント	アクシデント								
(1)医師										
(2)看護師										
(3)薬剤師										
(4)医療技術員										
(5)事務系・その他										
(6)合計										

2. 医療安全の確保のための内部レビューに関する取組状況（案）

【問1】問題の発見や対策立案のために「定期的」に2005年度に実施した活動（評価・改善のための院内巡視）について、(1)職種別関与者数、(2)「1回当たり平均」実施人数、(3)「1回当たり平均」所要時間、(4)「月当たり平均」実施回数を記入して下さい。また、それら活動の(5)具体的内容を記入して下さい。

問題発見・対策立案のための定期的活動	(1)職種別関与者数						(2)1回当たり実施人数	(3)1回当たり所要時間	(4)月当たり実施回数	(5)活動の具体的内容
	1. 医師	2. 看護師	3. 薬剤師	4. 医療技術員	5. 事務系	6. その他				
①安全管理 (チーム)										
②安全管理 (担当者個人)										
③感染制御 (チーム)										
④感染制御 (担当者個人)										
⑤医薬品										
⑥医療機器										
⑦上記以外 I										
⑧上記以外 II										

4

【問2】上記の活動に基づいて立案された対策に関して、以下の点が明記されていますか？

(1)各対策の具体的な実施内容について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(2)各対策の実施責任者について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(3)各対策の実施に関するスケジュールについて	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(4)各対策の実施に関する周知方法について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(5)各対策の実施やその効果の確認方法について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している

【問3】医療の安全・質確保のための内部レビューに関する取組に関して、以下に自由に記入して下さい。

自由記入欄

3. インシデント・アクシデントの報告と改善活動に関する取組状況（案）

【問1】院内で2005年度に収集したレポートについて、(1)当事者の「1件当たり平均」記入時間、所属長などによる「1件当たり平均」確認時間、レポートの集計などの「1件当たり平均」事務処理時間を記入して下さい。また、レポート収集の活動を把握する際に(1)だけでは不十分である場合は、(2)活動の具体的内容に補足的な説明を記入して下さい。

レポートの種類	(1)「1件当たり平均(2005年度)」所要時間			(2)活動の具体的内容
	1. 当事者記入時間	2. 所属長確認時間	3. 事務処理時間	
①インシデントレポート				
②アクシデントレポート				
③その他院内レポート				

【問2】レポートの報告に基づいて問題の発見や対策立案のために「定期的」に2005年度に実施した検討会について、(1)職種別関与者数、(2)「1回当たり平均」実施人数、(3)「1回当たり平均」所要時間、(4)「月当たり平均」実施回数を記入して下さい。また、それら活動の(5)具体的内容を記入して下さい。

問題発見・対策立案のための定期的活動	(1)職種別関与者数						(2)1回当たり実施人数	(3)1回当たり所要時間	(4)月当たり実施回数	(5)活動の具体的内容
	1. 医師	2. 看護師	3. 薬剤師	4. 医療技術員	5. 事務系	6. その他				
①レポートに関する検討会										

【問3】上記の活動に基づいて立案された対策に関して、以下の点が明記されていますか？

(1)各対策の具体的な実施内容について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(2)各対策の実施責任者について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(3)各対策の実施に関するスケジュールについて	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(4)各対策の実施に関する周知方法について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(5)各対策の実施やその効果の確認方法について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している

【問4】インシデント・アクシデントの報告と改善活動に関する取組に関して、以下に自由に記入して下さい。

自由記入欄

4. 病院感染サーベイランスに関する取組状況（案）

【問1】感染の発見や対策立案のために「定期的」に2005年度に実施した活動について、(1)実施の対象に該当するものに○をつけて下さい(複数選択不可)。また、(2)職種別関与者数、(3)「1回当たり平均」実施人数、(4)「1回当たり平均」所要時間、(5)「月当たり平均」実施回数を記入して下さい。また、それら活動について、実施診療科など(6)具体的内容を記入して下さい。なお、全病棟的、ハイリスク領域ともに実施している活動については、一方を「その他」の欄に回答して下さい。

問題発見・対策立案のための定期的活動	(1)実施の対象 (該当するものに○)[複数選択不可]	(2)職種別関与者数						(3)1回当たり 実施人数	(4)1回当たり 所要時間	(5)月当たり 実施回数	(6)活動の具体的内容 (実施診療科など)
		1. 医師	2. 看護師	3. 薬剤師	4. 医療技術員	5. 事務系	6. その他				
①多剤耐性菌	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
②BSI	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
③SSI	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
④UTI	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
⑤VAP	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
⑥カテーテル関連	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
⑦その他Ⅰ	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
⑧その他Ⅱ	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
⑨その他Ⅲ	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										
⑩その他Ⅳ	1. 全病棟的 2. ハイリスク領域(A. 手術関連・B. ICU)										

【問2】上記の活動に基づいて立案された対策に関して、以下の点が明記されていますか？

(1)各対策の具体的な実施内容について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(2)各対策の実施責任者について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(3)各対策の実施に関するスケジュールについて	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(4)各対策の実施に関する周知方法について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している
(5)各対策の実施やその効果の確認方法について	1. ほとんど明記していない	2. 一部の活動に対し明記している	3. 必ず明記している

【問3】病院感染サーベイランスに関する取組に関して、以下に自由に記入して下さい。

自由記入欄

5. 事故・感染およびその防止への対応に関する取組状況（案）

【問1】紛争に関して2005年度に発生した会議を列挙した上で、差し支えない範囲で、(1)「院内」において委員となることが定められている役職別人数、(2)「院外」委員へ支払う費用(千円)を記入して下さい。また、それら会議の(3)具体的内容を記入して下さい。

2005年度に紛争に関して発生した会議	(1)「院内」において委員となることが定められている役職別委員数							(2)「院外」委員 支払い費用(千円)	(3)会議の具体的内容
	1. 病院長・理事長	2. 副病院長	3. 診療部長	4. 事務長	5. 看護師長	6. 他役員	7. その他		

【問2】2005年度に支払った保険料について、差し支えない範囲で、また、概算でかまいませんので、(1)病院賠償責任保険の「年間」保険料(医療業務に関する保険で、被保険者が病院・法人であるもの)、(2)その他の賠償責任保険の「年間」保険料を記入して下さい。また、補足的な説明が必要な場合は、(3)補足説明に記入して下さい。

	(1)病院賠償責任保険料	(2)その他賠償責任保険料	(3)補足説明
年間(2005年度) 概算費用(千円)			

【問3】廃棄物処理のために、2005年度に委託処理した費用について、(1)感染性廃棄物、(2)非感染性廃棄物、(3)その他廃棄物のそれぞれについて記入して下さい。なお、分類が困難な場合は、(4)合計に記入して下さい。また、補足的な説明が必要な場合、(5)補足説明に記入して下さい。

	(1)感染性廃棄物	(2)非感染性廃棄物	(3)その他廃棄物	(4)合計	(5)補足説明
「年間(2005年度)」 委託処理費用(千円)					

【問4】情報技術を活用することで医療安全の確保が期待できる機能を列挙した上で、その導入状況について選択肢から当てはまるものに○を記入して下さい。

(1)医薬品エラー防止に関する機能

①*****	1. 導入済み	2. 導入計画中	3. 導入計画なし
②*****	1. 導入済み	2. 導入計画中	3. 導入計画なし
③*****	1. 導入済み	2. 導入計画中	3. 導入計画なし
⋮	⋮	⋮	⋮
○*****	1. 導入済み	2. 導入計画中	3. 導入計画なし

(2)*****

①*****	1. 導入済み	2. 導入計画中	3. 導入計画なし
--------	---------	----------	-----------

7. 施設基本情報（案）

【問】2005年度、および年度末における施設の状況について、以下の問いに回答して下さい。選択肢があるものについては○で囲んで下さい。

(1) 実働可能病床数	1 一般病床	床	
	2 療養病床	床	
	[再掲①] 指定介護療養型施設	床	
	3 精神病床	床	
	[再掲①] 指定介護療養型施設	床	
	4 結核病床	床	
	5 感染症病床	床	
	1 救急専用病床 ^{注1}	床	
	2 集中治療管理室(ICU)	床	
	3 冠状動脈疾患集中治療管理室(CCU)	床	
(2) 実働可能特殊病床数	4 ハイケアユニット(HCU)	床	
	5 新生児集中治療室(NICU)	床	
	6 母体・胎児集中治療室(MFICU)	床	
	7 広範囲熱傷集中治療室	床	
	8 放射線治療病室	床	
	9 無菌治療室	床	
	10 人工透析 ^{注2}	床	
	(3) 患者数	1 年間外来患者数	
		①延患者数	人
		②新患者数 ^{注3}	人
2 年間入院患者数			
①延患者数		人	
②新入院数		人	
③退院数(うち死亡数)	() 人		
(4) 職員常勤換算 ^{注4}	1 医師	人	
	[再掲①] 病理医数	人	
	[再掲②] 麻酔科医数	人	
	[再掲③] 放射線科医数	人	
	[再掲④] 研修医数	人	
	2 歯科医師	人	
	3 看護師・助産師・保健師	人	
4 薬剤師	人		
5 医療技術員	人		
6 事務職員	人		
7 技能労務員・労務員	人		

(5) 病院機能	1 一般病床の平均在院日数	日
	2 手術件数	件
	3 全身麻酔件数	件
	4 剖検数	件
	5 外来の院外処方の割合	%
	6 看護配置	① 2:1 ② 2.5:1 ③ 3:1 ④ 3.5:1 ⑤ 4:1
	7 看護師比率	① 70%以上 ② 40%~70% ③ 20%~40%
	8 看護補助配置	① 4:1 ② 5:1 ③ 6:1 ④ 10:1 ⑤ 15:1
	9 病床数	病床
	[再掲①] 夜間勤務等看護加算1	病床
	[再掲②] 夜間勤務等看護加算2	病床
	[再掲③] 夜間勤務等看護加算3	病床
	[再掲④] 夜間勤務等看護加算4	病床
	[再掲⑤] 夜間勤務等看護加算5	病床
[再掲⑥] 夜間勤務等看護加算6	病床	
10 臨床研修病院の指定の有無	あり・なし	
単独型臨床研修病院	①はい	
管理型臨床研修病院	②はい	
協力型臨床研修病院	③はい	
臨床研修協力施設	④はい	
11 救急医療体制		
三次救急医療施設(救命救急センター)	①はい	
二次救急医療施設で毎日対応	②はい	
二次救急医療施設で特定日に対応	③はい	
一次(初期)救急のみ対応	④はい	
12 時間外・救急患者 総数	人	
[再掲①] 救急車搬入患者数	人	
[再掲②] 救急入院患者数	人	
13 高度先進医療の有無	①あり・②なし	
14 先進医療の有無	①申請有 ②受理有 ③なし	

(6) 開設地域	1 北海道	はい
	2 東北 (青森、秋田、岩手、宮城、山形、福島)	はい
	3 関東 (茨城、栃木、群馬、埼玉、千葉、東京、神奈川、新潟、山梨、長野)	はい
	4 東海 (岐阜、静岡、愛知、三重)	はい
	5 北陸 (富山、石川、福井)	はい
	6 近畿 (滋賀、京都、大阪、兵庫、和歌山)	はい
	7 中国 (鳥取、島根、岡山、広島、山口)	はい
	8 四国 (徳島、香川、愛媛、高知)	はい
	9 九州 (福岡、佐賀、長門、大分、熊本、宮崎、鹿児島、沖縄)	はい
(7) 開設者	1 国立	はい
	2 公立	はい
	3 公的	はい
	4 医療法人	はい
	5 社会保険関係法人	はい
	6 個人	はい
	7 その他	はい
(8) 医業収支	I 医業収益	千円
	II 医業費用	千円
	1 材料費	千円
	[再掲①] 医薬品費	千円
	[再掲②] 診療材料費	千円
	2 給与費	千円
	3 委託費	千円
	4 設備関係費	千円
	[再掲①] 減価償却費	千円
	[再掲②] 地代家賃	千円
	5 研究研修費	千円
	6 経費	千円
	7 その他	千円
	III 医業外収益	千円
[再掲①] 運営費補助金収益	千円	
[再掲②] 施設設備補助金収益	千円	
IV 医業外費用	千円	

注1) 救急患者が専用で使用できる病床であり、救急患者を優先的に使用する病床は含めません。

注2) 実外来透析患者用ベッドも含めて記入して下さい。

注3) 診療報酬において初診料と算定した人数を記入して下さい。

注4) 職員常勤換算は、1週間に約半日勤務する場合を0.1人として記入して下さい。